

地域協会紹介 NO.10

今回は、周南市介護支援専門員協会の藤本会長よりご紹介させていただきます。

周南市介護支援専門員協会は、平成26年度より「目的や使命を果たすための会」へと発展させるため、周南市介護支援専門員連絡協議会から名称を変更し活動してきました。

今年度は、①質の向上、②連携強化、③ケアマネ支援を使命とし、色々な取組を実施してきました。質の向上に関しては、研修会を単独で4月と12月に実施し、周南市が推し進める『もやいネット周南』の活動と歯科医師等との連携について学びました。また、10月には毎年恒例の光市・下松市との合同研修会を行い、医師との栄養管理等の連携について勉強しました。

連携強化の取組では、徳山医師会病院が中心となって立ち上がった「あ・うんネット周南」のメンバーに入り、医師・歯科医師・薬剤師・看護師・リハビリ関係、介護福祉関係・社協・行政と研修会や交流会を実施してきました。その他にも、行政機関や社協が開催する会議や委員会への参加、他団体とのコラボレーションなど、連携・協働体制の構築に力を注いできました。ケアマネ支援については、十分な取組がされておらず今後の課題と言えます。

まだまだ課題も多い当協会ですが、今後も役員が丸となって、会員さんがもっと安心してケアマネジメントを行えるように、またそれを通して周南市の高齢者が自分らしく暮らしていけるように、尽力していきたいと思えます！

最後に、周南市で活躍する介護支援専門員の皆さん、周南市介護支援専門員協会へ入会して一緒にレベルアップしていきましょう！

周南市の魅力紹介！！

周南市は、日本を代表する工場夜景6都市（北海道室蘭市、神奈川県川崎市、三重県四日市市、兵庫県尼崎市、福岡県北九州市、周南市）の1つに選ばれていて、他の5つの都市に比べて周南市の工場夜景って形態が希でユニークで珍しいとされています！また、太平洋戦争末期に開発された特別攻撃隊人間魚雷回天の訓練基地跡が大津島という島にあり、施設が現在も残っています。約70年前、全国から集まった若者たちが毎日厳しい訓練を繰り返し、ふるさとを守るため、家族を守るため出撃していきました。是非大津島に足を運んで、当時のことを感じてみていただきたいです。その他にも、皆さんが初詣などで引かれるおみくじの発祥が周南市だったり、「徳山みかげ」という御影石が大阪城築城や国会議事堂の壁に使われていたり、あまり表には出ないエピソードもあります！

特産品としては、「ふぐ」があります。有名なのは下関だと思えますが、実は周南市もふぐが有名でふぐの漁法で最も代表的な延縄漁発祥の地なのです！この漁法はふぐを傷つけずにたくさんとることができます。刺身、からあげ、鍋、ぞうすい、ひれ酒など、どれを食べてもおいしいです！中でもふぐの刺身は通常絵皿が美しく見えるようにするのですが、周南市のふぐの刺身は分厚く切って絵皿が見えなくなるくらい提供しています。食べごたえ抜群ですので、是非皆様にも召し上がっていただきたいです。

周南市の魅力は、<http://www.kanko-shunan.com/>でご確認くださいませ。



編集後記

暦の上では立春を過ぎ春を迎えましたが、まだまだ寒い日が続いていますね。平成27年度の介護報酬改定を目前に控え、会員の皆様も慌ただしい毎日をご過ごされているかと思えます。今後も広報誌やホームページなどで、会員の皆様に有用な情報を発信していきたいと思えます。また、春と秋開催予定のケアマネ交流会への多数のご参加をお待ちしております！

(平成27年2月18日発行)